●依然怠業狀態續き
熔鑛爐の火消滅に瀕す
一時場内の作業全く中止
勞友會長以下七名治安警察法違犯として起訴

七日夜の製鐵所は職工千五百をして辛ふじて從業せしめつゝあるのみ中央機關の如きは百八十名の中僅かに十名

作業他は孰れも怠業を中止

業狀態のまゝ十一時に至る

一派の者のため家族が危害を加へらるやも知れず

熔鑛爐火の絶ゆるを甚く憂慮

警察法違反として起訴

▲勞友會としては長官の回答は不滿足です

併し警察の眼が煩いかられ今夜回答の報告だけすると

勞友幹事叔氣語る

▲回答を待つた上で

雪の西伯利（一）

ハバロフスク日本軍兵營の一部

▲長官の回答に就ては同志會は不關焉

職工は九日から全部出勤させる積だが勞友會の妨害で完全に仕事は出來まい

勝部理事長記者に語る

▲喝采の方を指さしなから一人は語る

▲憲兵警察官の依然工場同志會の從業を